

道徳科 小学校第1学年 単元名：親切にするって

(全3時間)

授業者：四万十市立東中筋小学校 細木 葵絵 児童生徒：7人

【単元のねらい】

「相手に親切にする」ことを多面的に考えたり、自分が優しくされた経験を振り返ったりすることを通して、親切や友情には、人に優しくする心が大切だということに気づき、自分も周りの人に優しくしようとする道徳的心情を育む。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・相手が喜ぶことをする。優しい気持ちです。
- ・自分のことより相手のことを考える親切もある。人に優しくするには、自分が我慢することもある。
- ・相手に親切にすると、自分もいい気持ちになる。
- ・相手の気持ちを考えて親切にしたい。
- ・相手に嫌なことを言うと、自分も嫌な気持ちになるから、相手の気持ちを考えたい。優しくすることとは、一人ぼっちをつくらないということ。
- ・人に優しくすると、自分もうれしくなる。友だちに優しくしたときに、「ありがとう。」と言ってもらってうれしかった。親切にしてよかったなど思った。
- ・いつでもだれにでも、親切にしたい。

単元構想

時	実施(時限)	主題名・内容項目(関連項目)	教材名(出典)	主な学習活動
1	11月13日 (2時間目)	友達と仲良く助け合う 【友情、信頼 B(9)】	およげないりすさん (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・「泳げないからだめ。」と言われてたりりすさんの気持ちを考える。 ・初めから誘って行かなかったのはどうしてか考える。 ・他の動物が楽しいはずが楽しくないのはなぜか考える。 ・役割演技を通して、楽しそうなみんなの気持ちを考える。 ・親切にすることについて考える。
2	11月20日 (2時間目)	身近な人に親切に 【親切、思いやり B(6)】	空のクレヨン (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・クレヨンを買ってもらった時のけんとかくんの気持ちを想像する。 ・みんなが使うことでクレヨンがどんどん減っていく時のけんとかくんの気持ちについて話し合う。 ・みんなを思いやることができたけんとかくんをたたえるおじいちゃんのことを考える。 ・みんなを思いやることを振り返るけんとかくんの心の中を考える。 ・親切にすることについて考える。
3	11月27日 (5時間目) (本時)	親切の気持ちよさ 【親切、思いやり B(6)】	はしの上のおおかみ (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじわるをするおおかみの気持ちを考える。 ・くまの優しい行為に触れたおおかみの心の中を考える。 ・親切にすることの気持ちよさに気付いたおおかみの心情を考える。 ・親切にしたり、されたりした体験を振り返り、親切にすることについて考える。

【主題名】親切の気持ちよさ 【親切・思いやり】 B-(6)

【教材名】はしの上のおおかみ（廣済堂あかつき）

【本時のねらい】

くまの優しさに触れたおおかみの心の変化について考えることを通して、親切にすることの気持ちよさに気付き、人々に温かい心で接し、親切にしようとする道徳的心情を育む。

【指導の要点】

くまの親切に触れたおおかみの心の変化への共感をもとに、親切にすることの大切さや喜びについて実感できるようにする。

【主題に関わる児童生徒の実態】

- 相手の気持ちに気付くことができる児童が多い。
- 自分がされていやなことは相手にはしないようにしたいと行動に移すことができている。
- 相手が喜ぶことをすることが自分の喜びになるということを日々の生活の中で実感している児童も多にいる。
- 相手の気持ちを想像することができずに、衝動的に行動してしまう児童もいる。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- 意地悪したら、相手が嫌な気持ちになる。
- 親切にすると、いい気持ちになる。
- 相手に親切にすることは、気持ちいいことだから、自分も優しくしたい。
- 相手に親切にすると、自分も相手もいい気持ちになる。
- 相手が喜ぶと、自分もうれしくなるから、親切にしたい。
- 相手に優しくして嬉しかったことがある。
- いつでもだれにでも、親切にしたい。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

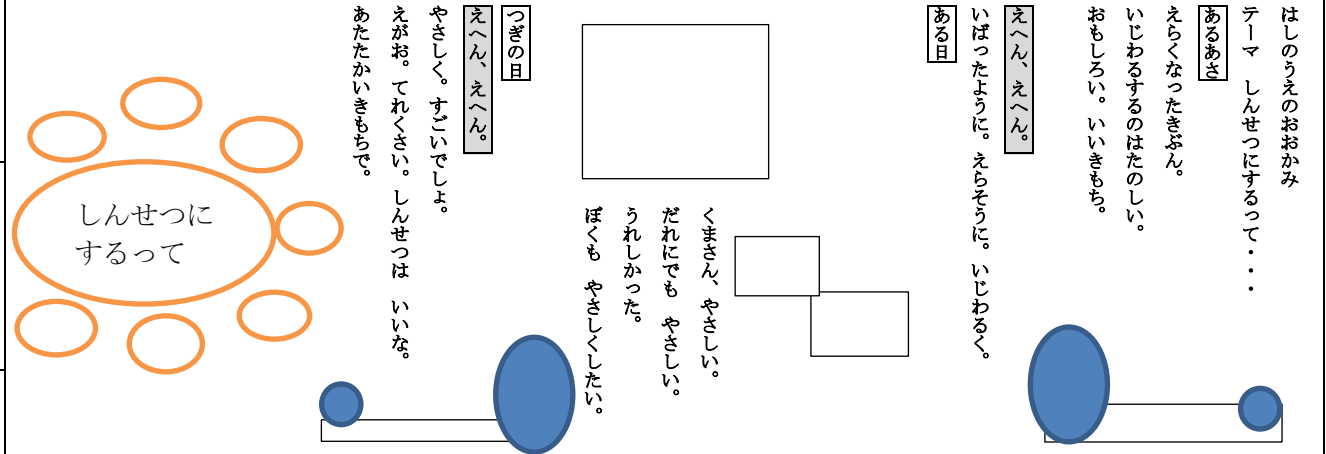
- 役割演技を通して、親切にすることのよさを実感できるようにする。
- 自分たちの生活を振り返ることを通して、親切にすることのよさに気付かせる。

多面的・多角的に捉えるための工夫

- 親切にする側、される側の気持ちから、親切にすることのよさについて考えさせる。
- くまとおおかみとの比較や親切にする前とした後の気持ちを対比するための板書や問い返しを工夫する。

主題に迫るための工夫

- くまの親切に触れたおおかみの心の変化に共感させ、役割演技や親切にする前と後の気持ちを対比することを通して、親切にすることのよさに気付かせる。



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	1. 前時までに考えた親切について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が喜ぶことをする。優しい気持ちです。 ・自分のことより相手のことを考える親切もある。 ・相手に親切にすると、自分もいい気持ちになる。 ・相手の気持ちを考えて親切にしたい。一人ぼっちにしない。
展開	<p>テーマ：親切にするって</p> <p>2. 前半を読んで、みんなを追い返したおおかみの心情を考える。 ○「こらこら、もどれもどれ。」と言って、みんなを追い返すとき、おおかみは、どんな気持ちだったのでしょうか。（役割演技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「えへん、えへん。」は、どんな言い方だったのでしょうか。 ◆どうしてこんな気持ちになったのでしょうか。 <p>3. 後半を読んで、うさぎを渡してあげたおおかみの心情を考える。 ○さっきは追い返したのに、今度はどうしてうさぎを渡してあげたのしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆くまさんの後ろ姿を見ながら、どんなことを思ったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・問い返しの中で、くまの行動と気持ちを考えられるようにする。 <p>◎うさぎを抱き上げて橋を渡してあげたおおかみは、どんな気持ちだったのでしょうか。（役割演技）</p> <p>○最初の「えへん、えへん。」と最後の「えへん、えへん。」の言い方は同じでしょうか。 ◆どんな言い方だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どうしてこんな気持ちになったのでしょうか。 <p>3. 親切について考える。 ○親切にするのは、なぜ大切なのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意地悪するのはおもしろいな。 ・楽しいなあ。えらくなった気分だ。 ・いばったように。えらそうに。意地悪く言った。 ・追い返したら、みんながもどるから、強くなったみたいで楽しい。 ・みんなが言うことを聞くからうれしい。 ・くまさんに優しくしてもらって、自分も優しくしたいと思ったから。 ・くまさんがかっこいいからまねしたいと思った。 ・くまさんに渡してもらって嬉しかったから。 ・くまさん、すごいな。 ・自分よりも小さい人にも優しい。 ・ぼくは、いけなかった。 ・ぼくは、うさぎさんを追い返したのにくまさんは渡してくれた。 ・ぼくもくまさんみたいに優しくしたい。 ・うれしい。いい気持ち。 ・こっちの方がいい。 ・ちがう。 ・やさしく。笑顔。うれしい。 ・じまん。あたたかい。てれくさい。 ・くまさんのようにできたから、うれしい。 ・うさぎさんもうれしそうだから、自分もうれしい。 ・親切にすると、自分も相手もうれしい気持ちになるから。 ・みんなが笑顔になるから。
終末	3. 振り返りを書き、共有する。 ・優しくしたり、されたりした体験を振り返って、思ったことを書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に優しくして嬉しかったことがある。 ・いつでも、だれにでも、優しくできるようになりたい。 ・相手に親切にすると、自分も相手もいい気持ちになる。 ・相手が喜ぶと、自分もうれしくなるから、親切にしたい。

【評価の視点】

自 おおかみを自分に置き換えて考えながら、親切にすることのよさについて、自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。

多 くまの親切に触れる前と後のおおかみの心の変化やその理由を様々な視点で捉え、親切にすることのよさについて考えを深めている発言が見られる。